

楽聖四コマ劇場  
**運命**  
呼ばないで



Op.2-5



© NAXOS JAPAN/IKK

NAXOS JAPAN  
WEBにて  
大好評連載中  
[http://naxos.jp/special/no\\_unmei](http://naxos.jp/special/no_unmei)

**親子で一緒に**  
**楽器を作ろう②**  
～ペットボトルのギロ～

第2回目は、ペットボトルで作る「ギロ」をご紹介します。ギロは、ラテン音楽の花形！ノリの良い音楽に合わせて、楽器を演奏しながら歌ったり踊ったり、全身で音楽を感じて楽しみましょう♪

**ペットボトルのギロ** <著：今野道裕/イラスト：浅羽壮一郎>

**作り方** ペットボトルに輪ゴムを数本かける。  
**遊び方** ペンや割りばしなどの棒でこする。



ペットボトル本体にでこぼこがあれば、輪ゴムをかけなくてもこすれば音が出るよ。  
輪ゴムをはじいて音を出したり、棒でたたいたりしてもいい音が楽しめるよ。

**音楽にあわせて演奏してみよう!**  
**おすすめ曲** かえるの合唱、山の音楽家、だんご3兄弟 など  
**編集部のワンポイント・豆知識**  
本物の「ギロ」がどんな素材でできているか、ご存じですか？実は、ひょうたんなのです。くびれないひょうたんの中身をくり抜いて乾燥させ、堅い表皮にギザギザの刻みをつけます。木製の場合は「ウッドギロ」と呼ばれます。

**発売中!**  
Gakken 保育 Books  
「3・4・5歳児の保育に  
作ってあそべる 製作ずかん」  
今野道裕 著 学研教育出版 刊  
■B5判 / 112頁 / 本体価格 1,300円 (税別)  
この書籍の内容についてのお問い合わせ→TEL:03-6431-1595

**6/8の指導、どうして  
8の指導、いますか?**  
大切なことは3拍がひとつのかたまりだということ。「リズムのほん」4・5巻には、丸子あかね先生がまとめた8/8のリズム練習がたくさん収められています。1レッスンにひとつずつ、リズム打ちを取り入れてみては?

**完結!**「名曲のたのしみ、吉田秀和」全5巻  
西川彰一(編) **発売中**

第1巻 ピアニストききくらべ 第4巻 室内楽との対話  
第2巻 指揮者を語る 第5巻 モーツァルト～作曲家たち  
第3巻 珠玉のソリストたち

■各-A5判 / 本体価格 3,200円(税別) / CD1枚付き  
■第1・3巻 352頁 / 第2巻 304頁 / 第4・5巻 356頁  
「モーツァルト その音楽と生涯」2014年春より刊行予定

**Tsubuyaitter.....** follow me!  
近頃水曜日の真夜中に、煮込み料理が作りたくなる。ぐっぐつ、ここと。おいしくなあれ。(心の中で「真夜中の火祭り」を聴きながら) (の)

twitter やってます! @gakken\_music 日々のよしなしごとや最新情報をツイートしています!

Web版も  
バックナンバーが  
閲覧できる  
Web版ならではの  
情報が満載!

**学研 おんがく通信** 1月号  
2013年12月25日

Gakken  
(株)学研パブリッシング 音楽出版事業室  
〒141-8412 東京都品川区西五反田2-11-8  
Tel. 03-6431-1220

学研 おんがく.net http://gakken-publishing.jp/ongaku/  
学研 電子ストア http://ebook.gakken.jp/gstore/

ある日の演奏会での出来事。お腹が空ききって会場に到着したので、開演前に急いで腹ごしらえ...をしたのにもかかわらず！指揮者がタクトを振り上げた瞬間、私のお腹はゴウオオオ〜！と見事なフォルテシモでフライング...ああ、恥ずかしかった。(め)

**時代を知る ⑥ R.シュトラウス**

2014年は、後期ロマン派を代表する作曲家リヒャルト・シュトラウスが生誕150年を迎えます。世界中で指揮者・作曲家として活躍したR.シュトラウス。誕生月の6月には、生誕地のミュンヘン、彼の最期の地となったガルミッシュを始め、彼がよく指揮をとっていたライプツィヒなど、ドイツ中のコンサートホールで記念演奏会が予定されています。第6回の『時代を知る』コーナーは、R.シュトラウスの生きた時代を眺めてみましょう。彼の生涯85年の間で、音楽の歴史はロマン派から近現代へと移り変わり、世界の歴史は戦争の時代へと突入していきました。

1800 64 65 67 76 83 85 86 89 94 95 96 97 98 99 04 05 08 09 11 12 13 14 15 19 24 25 33 35 39 40 42 45 48 49

R・シュトラウス没  
《4つの最後の歌》作曲  
第一次世界大戦終結  
歌劇場が破壊されていった  
「このころ、ヨーロッパ各地が襲撃にあい、  
《メタモルフォーゼン》作曲  
歌劇《カプリッチョ》初演  
日本のために「皇紀2600年奉祝曲」を作曲  
第二次世界大戦  
歌劇《無口な女》初演  
ナチスがドイツ政権を獲得/第三帝国音楽院総裁に任命される  
ベルクの無調歌劇《ヴォツェック》初演  
ガリッシュウィッテンの《ラフンディ・イン・ブル》初演  
バレエ《ホワイプクリム》初演  
ウィーン国立歌劇場の監督に就任  
アルプス交響曲初演  
バレエ《ヨーゼフ伝説》初演  
第一次世界大戦  
ストラヴィンスキーのバレエ音楽《春の祭典》初演  
シエーンベルクが《月に憑かれたレオポルド》作曲  
歌劇《ばらの騎士》初演  
マラーの《大地の歌》初演  
歌劇《エレクトラ》初演  
ドイツとオーストリアの国境近くのガルミッシュに山荘を建てる  
ベルリオズの「近代楽器法と管弦楽法」をドイツ語に翻訳出版  
家庭交響曲初演  
交響詩《英雄の生涯》初演  
ドイツ人作曲家組合設立、著作権協会設立  
ドリンの第1宮廷楽長に就任  
交響詩《ドン・キホーテ》初演  
ブラームス没  
交響詩《ツアラトウストラはかく語りき》初演  
ソプラノ歌手パウリーネ・デア・アーナと結婚する  
バイロイトで《タンホイザー》を指揮する  
交響詩《ドン・ファン》初演  
ミュンヘン宮廷歌劇場の第3楽長に就任  
マイニンゲン宮廷オーケストラの第2指揮者に就任  
ワーグナー没  
作品番号1番になる《祝典行進曲》作曲  
ヨハン・シュトラウスII世の「美しく青きドナウ」がパリ万博で大ヒット  
ワーグナーの楽劇《トリスタンとイゾルデ》初演  
R・シュトラウス誕生

ミュンヘンで宮廷音楽家の息子として誕生  
ワーグナー音楽の影響は多大!  
絶妙な管弦楽法  
保守的なブラームスとの親交も深かった  
映画2001年宇宙の旅  
出世作!! 交響詩は全7曲!  
反社会的とされ、ウィーンなどでは上演禁止  
最高傑作!!  
ウィンドマンやシュトラウス特注のサンダーマンが登場  
ホーフマンスタールとの共作第1作目  
ユダヤ人作曲家ツヴァイクの台本でナチスと衝突  
最後のオペラ  
戦争の悲しみの中で書かれた曲  
最晩年の愛情と哀愁が心に沁みる  
遺言により葬儀では「ばらの騎士」の最後の三重唱が歌われた

【キーワード】  
最後のロマン派/交響詩/歌劇/指揮者/第三帝国/自作自演/ワーグナー/ブラームス/マラー/ホーフマンスタール/リッター/ツヴァイク/カラヤン/ペーム/セル

江戸 明治 大正 昭和

**ぴあのどリーむ情報**

前回、『ぴあのどリーむ』シリーズの“サブシリーズ”から、「小学生のためのピアノ小曲集」をご紹介しましたので、今回は残りの「がくてんドリル」(全5巻)につきまして♪「がくてんドリル」は、「ワークブック」と同じく「問題集」としての役割を果たすシリーズですが、大きな違いは「テキスト」のカリキュラムに完全準拠していないこと。「ぴあのどリーむ」シリーズの特長は、無理なく楽しくピアノが上手になるよう、優しく、易しく進む、やさしさあふれたカリキュラム。音符の名前などの楽典要素を学習するのは、第3巻から先のことなのです。ですから、はじめから楽典問題に取り組む「がくてんドリル」は、「ぴあのどリーむ」のメインシリーズが、ある程度進んできた生徒さんの予習や復習、また、学校の授業の復習などにお使いいただけたらと思います。(か)

20th Anniversary





♪雪のふる夜は たのしいペチカ  
 ペチカ燃えろよ お話しましょ  
 むかしむかしよ  
 燃えろよ ペチカ

明治38年(1905年)、日露戦争に勝利した日本は、満州に鉄道会社を設立するなど、植民地化に向けて進出を図っていききました。日本からの移民も増えていく中、大正11年(1922年)、子どもたちが満州に親しみを持つことのできる教科書を発行しようと、南満州教育会教科書編集部が設立されます。日本の風土と満州の風土がかけ離れていることから、これまで日本の文部省唱歌を使ってきた唱歌についても“満州色豊かな歌”をまとめた副読本を作成する作業が始まり、教育会は、北原白秋、

野口雨情、巖谷小波ら詩人たちと、山田耕筰、梁田貞、中田章ら作曲家に新曲を依頼します。「ペチカ」はこの副読本のために作られた曲だったのです。作詞は北原白秋、作曲は山田耕筰。大正13年(1924年)『満州唱歌集～尋常科第一・第二学年用』に発表されました。このと同時に、この二人による名曲、「待ちぼうけ」も発表されています。満州の冬は日本の比ではなく、山野も凍るといわれているほどの極寒の世界です。「ペチカ」は当時シベリアや北欧で使用されていた、石やレンガで造られた大型の暖房装置で、火そのものではなく暖められた石やレンガが部屋全体を暖める機能を持っていました。そんな「ペチカ」のある生活を楽しんでいる人びとを歌ったこの曲は、満州での生活に対する不安を憧れに変える役目も担っていたのです。2番の歌詞「栗や、栗や」は、満州の冬の風物詩でもある路上の菓子売りの声。当時は栗のほかにも、杏に砂糖をまぶした糖果児(タンホール)や焼き芋売りの声が行き交っていたそうです。昭和6年(1931年)に満州事変が勃発。以降、「満蒙開拓団」が組織され、多くの日本人家族が入植します。そして昭和7年(1932年)、満州国の建国が宣言されました。(く)

\*参照 「わたしの心の歌-冬」(学研パブリッシング 刊)

Happy Birthday

1月 生まれの音楽家

♪アルトゥーロ・ベネデッティ・ミケランジェリ (イタリア/ピアニスト/1920.1.5)  
 ●コルトーが「リストの再来」と称したピアニスト。

♪ヴィルヘルム・フルトヴェングラー (ドイツ/指揮者、作曲家、ピアニスト/1886.1.25)  
 ●ベルリン・フィルの終身指揮者としても活躍した、20世紀最大の指揮者。

WEBで詳しく紹介しています!

## 編集部チョイスおすすめの1曲

よろこびの歌 (ベートーヴェン) レベル:★★☆☆

年末といえばこの曲! やさしくアレンジしたものや、ポリフォニーを学習できるものなど、さまざまな楽譜を取り揃えています。

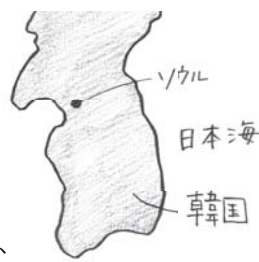
掲載楽譜→びあのどリーむ レパートリー3 やさしいポリフォニー1 ピアノフレンド1



## 僕と私とピアノ - 第2回 -

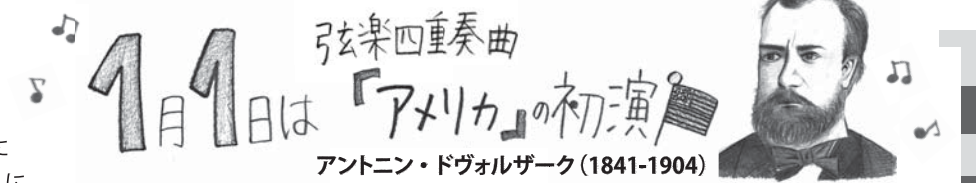
前年11月号ではアフリカ・タンザニアから、ピアノのレッスンの経験談をお届けしました。第2回目はアジア・韓国からです。近年、特に女性の間での韓流ブームは話題を呼びました。おいしい韓国料理や豊富なコスメ用品を求めて、実際に足を運ぶ方も多くいらっしゃると思います。今回体験談を話してくれたのは、韓国出身の高校2年生、アンちゃんです。いつも元気いっぱいアンちゃん、小学生のときに受けていたピアノのレッスンの様子をお話してくれました。「母に勧められて10歳のときにピアノを習い始めました。習った期間は1年半ほどでしたが、週に3回レッスンに通っていました。子どものための曲集や、あとはチェルニーの楽譜を使っていました。韓国ではブルグミュラーの曲集もよく知られていますよ。ピアノの先生もたくさんいて、私の先生は家の隣に住んでいました。ちなみに、私のいとこはピアノの先生です! 今住んでいる家にはピアノがないのでなかなか弾く機会がないのですが、もしピアノがあったら、好きな曲を楽しく弾きたいな、なんて思います。なんでピアノを辞めちゃったんだろうって、今は後悔しています。ピアノのほかにはフルートとヴァイオリン、そして韓国の伝統楽器の“ピリ”という楽器も弾きます。残念ながら韓国の子どもたちは勉強でとても忙しく、勉強にあまり関係のない習い事は人気がありません。ですが、多くの大人たちは子どもにピアノなどの音楽教育も受けさせたいと考えているようです。」

このように語ってくれたアンちゃん。ピアノを辞めて後悔しているとのコメントに、「まだ高校生なんだから、これからでもたくさん習うチャンスがあるよ!」と思わず熱くなってしまいました。学校から帰った後も勉強三昧、その傍ら様々な音楽活動…と韓国の子どもたちは大忙しのようです。日本でもお馴染みのチェルニーやブルグミュラーの曲集が韓国でも使われているようで、共通点を見つけた私たちは話が弾みました。日本にも何度か来たことがあるそうで、駅名や食べ物日本語をたくさん披露してくれましたよ! さて今回はどこの国からのレポートでしょうか? お楽しみに!! (め)



### 今月のあかね先生

前号に続いて、新セミナー「ピアノ・テクニックのレッスン法」についてお話ししたいと思います。担当者(いも)が受講して全体を通して一番印象的だったのは、あかね先生の音色の豊かさです。導入期の、音が少ない曲を豊かに表現することはとても難しいことだと思うのですが、それがとても音楽的なのです。とても「わかりやすい」のです。あかね先生は「学習ポイントを明確に」とお話しされ、ひとつひとつの音の出し方から指導されています。それが積み重なってこのように豊かな演奏になるのだと実感しました。「指導者のお手本が大事」「子どもが見てわかるように、お手本はオーバーに!」「やること(学習要素)を明確に!」リズムのセミナーでも提唱されているこの言葉が指導の根底にあるのだと思います。子どもたちは、わかりやすいからやってみる、やればできる、できれば楽しい…。 “できない”という前に、“課題のわかりやすさ”を追求することが大切なのかもしれません。受講者のアンケートにあった一言をご紹介します。 「ピアノを弾くということは、“楽器本来の音”をならし、響かせること…それを体感した2時間でした!!」担当者も同感です。たくさん子どもたちに“ピアノを弾く”という本来の楽しさを知ってもらえるといいですね。(いも)



1月1日は「アメリカ」の初演

1892年9月、ドヴォルザークはナショナル音楽院の院長に赴任するためニューヨークに渡ります。1890年にブラハ音楽院の教授に就任し、さらに同校から名誉博士号を、またイギリスのケンブリッジ大学から博士号を授与されるなど、ヨーロッパで名声を確立していたドヴォルザークが、こうして故郷を離れ新天地に赴いた背景には、アメリカの富豪夫人、ジャネット・サーバーの熱い思いがありました。南北戦争(1861年-65年)後の経済発展によって、19世紀末のアメリカはイギリスをしのぐ世界一の工業国に成長していました。そこには石油のロックフェラー、鉄道のスタンフォード、鉄鋼のカーネギー、金融のモルガンら、巨大財閥が存在していました。彼らはアメリカの経済を支配しながら、一方では歴史をもつヨーロッパの文化や芸術を意識し、そこへの投資も惜しみませんでした。メトロポリタン歌劇場が開場したのもこの頃です(1883年)。そうした中で、サーバー夫人も「アメリカ固有の音楽の創作、音楽家の育成」という夢を実現するための学校、ナショナル音楽院を1885年に設立します。そして、その院長として、ドヴォルザークに白羽の矢を立てたのです。1891年、夫人はドヴォルザークに次のような手紙を送ります。「どうぞナショナル音楽院の教授に就任してください。給料は年15,000ドルです。また貴方の作品を披露する演奏会を最低10回は開くことをお約束します。」教授に就任したばかりのブラハ音楽院のこともあり、返事を渋っていたドヴォルザークでしたが、その後も彼女の熱心な説得にあい2年間の契約で渡米を決意したのです。アメリカ滞在中にドヴォルザークは、黒人霊歌やアメリカ先住民の歌などに触れ、大いなる刺激を受けます。そしてまず生まれたのが「交響曲第9番(新世界より)」です。1893年の初演は大成功を収めました。その後彼は、夏休みを利用してチェコからの移民のコミュニティがあるアイオワ州スプリングフィールドに滞在します。同郷の人々に会い、祖国の文化や音楽に触れた彼は、スプリングフィールド滞在中に一気に弦楽四重奏曲「アメリカ」を書き上げました。1893年6月のことです。ペンタトニックを使った第1楽章から始まり、黒人霊歌やボヘミア民謡が郷愁を誘う第2楽章、第3楽章にはスプリングフィールドで聞いた鳥のさえずりも描かれているこの曲は、「民族的な要素が弦楽四重奏曲に見事に昇華された名作」といわれています。1895年2月ドヴォルザークは、晩年の名作のひとつ「チェロ協奏曲」を仕上げ、翌7月の4月に故郷に向けてアメリカを帰ったのです。(く)

●おすすめCDを1枚⇒演奏: アルバン・ベルク四重奏団 [EMI クラシックス/TOCE14084]

つむりの練習手帳

つむりは今、ブルクミュラーの「子どもの集会」っていう曲を練習しているんだけど、始めてから2か月くらいつのに、まだ前半部分しか弾けません。確かに難しそうだなあとは思ってたけど、いつになったら全部聞けるのかなあ。今日もだけど、得意な「ブレイベンション」ばかり練習するから、こっちはもう3曲もまるをもらってます。(トホホお兄)

つむり現在の楽譜  
 ☆こどものハノン ①  
 ☆こどものバイエル ⑤  
 ☆ブレインヴェンション  
 ☆びあのどリーむ  
 ブルクミュラー25の練習曲

はじめてのテクニック  
 ピアノのほん  
 いやいよ完結!!  
 ★2月中旬発売予定★

全3巻完結!!  
 響きや音色を味わう  
 中級レベルへ!!

はじめてのテクニック  
 ピアノのほん ③ (テキスト)  
 ピアノのほんレパートリー 3

◆第3巻の学習内容◆  
 付点4分音符/シンクベーション/8分音符の伴奏/ペダル/16分音符/付点8分音符/3連符/8分の6拍子と8分の3拍子/8分音符のスタッカート  
 【テキスト(全3巻)】 ■各:菊倍判/4C/本体価格1,200円(税別)  
 ■1巻 50頁/2巻 52頁/3巻 48頁 ※各巻指導者向けページ付き  
 【レパートリー(全3巻)】 ■各:菊倍判/40頁/4C/本体価格1,000円(税別)